

令和7年度 利用者、職員アンケート 集計結果

<熊本県ひばり園>

対象：本園の児童発達支援事業を3か月以上利用されている児童の保護者で
期間内に来園され御協力いただいた方と、本園の職員。

期間：令和7年9月1日～令和7年9月30日に配布、回収

令和8年3月10日公表

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通
所支援事業所 熊本県ひばり園

公表日

令和 8年 3月 10日

* 100%に達しない設問は未回答あり

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	89%	6%	・活動により使用する部屋を変える。	・集団の人数に合わせて、部屋やレイアウトこまめに見直していく。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	72%	22%	・こどもの状態によってサポートする職員を配置。 ・集団療育では役割分担を明確にしている。	・職員の急な欠勤時の対応が円滑に対応できる仕組みづくりを検討する。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	94%	6%		・構造化や環境上の配慮について、統一した理解と対応を研修で確認する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・今年度、照明機器付け替え工事の実施。 ・多目的ホールを運動用の部屋として使えるようにした。	・活動前後の確認が習慣づけられるよう職員間で声掛けを行う。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	94%	6%	・職員が必要性を判断して個別の部屋でクールダウン等を行っている。 ・特に集団活動時にてクールダウンができるスペースを確保している。	
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	89%	11%		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	94%	6%		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	78%	22%		・意見を改善につなげる仕組みを全員で考え、主体的に関われる体制を目指す。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	89%	6%	・R5年度実施。できることから取り組んでいる。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・職員から希望をとり参加できるようにしている。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	94%	6%	昨年度作成。	・内容の充実や使いやすさを確認し、毎年改善を検討する。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	89%	11%	・行動観察とフォーマルアセスメントを用いている。	・子どもの現状と設定した目標にずれが生じることがあるため、とくに新入園児には2か月を目安に支援の調整を行っている。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	94%	6%	・個別・集団の両方で、全職員が5領域に関わるようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	94%	6%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	83%	17%		・個別・集団の職員間の理解を共有するため、記録を活用し、職員間で話す時間を持つようにする。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・園内の支援プログラムを活用している。	・短期目標は、さらに具体的に設定したほうがよいかもしれない。検討する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	94%	6%	集団で実施できている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・月活動プログラムを作成し、変化を持たせている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	94%	6%	・集団、小集団の際に必ず行っている。 ・活動を項目ごとに分け、時間を設定し、効率的に行うようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	94%	6%	・小集団の際に必ず行っている。 ・項目だてで、時間設定して行うようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・半年に1度以上行っている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		・会議をコーディネートする相談支援事業所と連携をさらに深めていく必要がある。

関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・ 情報提供書等、書面で情報提供を行っている。 ・ 必要に応じて会議に参加している。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	・ 情報提供書等、書面で情報提供を行っている。 ・ 在園中であれば会議に参加している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	89%	0%		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	72%	17%	・ 園からの研修もあるが、積極的に自主参加の受講もある。	
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	94%	0%		
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	67%	22%		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	94%	0%	・ 送迎が祖父母などと来園された場合や、来園が難しい保護者には写真や書面で様子を知らせるようにしている。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	89%	6%	・ 廊下の掲示板を活用し当事者の会などの案内を見易く紹介している。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		・継続して相談しやすい関係づくりに取り組んでいく。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	89%	11%	・在園児保護者と卒園児保護者交流の場を設定し好評だった。	・まずは保護者・子ども同士の交流から関係を深めていく。 ・現段階では、きょうだい交流は難しいため、段階的検討を進める。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	17%		・全職員が対応できるよう、毎年研修を受けてスキルの向上とアップデートに取り組む。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	89%	11%	・ホームページを活用している	・活用が十分でない点を改善していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	72%	22%	・今年度も「ひばり園広場」や地域のボランティア、実習生の受け入れを実施した。法人内の福祉センターが行う交流会にも参加した。	
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	89%	6%		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・毎年保護者と確認している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	94%	0%	・医師の指示書の有無を全員に確認し、対応している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	94%	6%		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	89%	11%		

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・記録書式を改定し、報告の手続きが簡潔になり防止策を検討しやすくなった。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%		・研修内容が個人の気づきにつながるよう取り組む。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%		

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団
多機能型指定障害児通所支援事業所

公表

日 令和8年 3月 10日

児童

数 令和7年 5月 31日

73 名

* 100%に達しない設問は未回答あり

	チェック項目	はい	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。また清潔かつ心地よく過ごせる環境になっていますか。	97%	3%	0%	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動する部屋があり本人もとても楽しそうに活動している。 活動する空間を危険がないよう整理され、消毒が行われている。 部屋は広く十分。安全に配慮されている。 身体が動かせるスペースが欲しい。暗い感じがする。中庭もきれいだとい。 親子同室の為、7組を超えると狭く感じる。こどもが玩具を口にすることがあるが、消毒しているか分からない。 活動内容に応じていくつかの部屋を使い分けているため十分に確保されていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もお子さまの状態や活動の内容に合わせ部屋、中庭、公園などの園外を含め配慮や環境整備を継続していきます。 次年度男性トイレのオムツ交換台設置を予定しています。
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	88%	4%	7%	<ul style="list-style-type: none"> グループ活動の時、アドバイス助かっている。 子ども1人1人に目が行き届く配置数だと思う。 十分な人数で対応してもらえている。 適切な人数が分からない。 人数が多いときに保育士を補充しているが、走りまわる子どもを座って眺めるだけで安全を確保してもらえていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 手厚く対応していただけてありがたい。 職員が大変そうに見える。 療育時間が一人に対して短いのは、職員が足りないからなのかと思う。
3	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	93%	1%	4%	<ul style="list-style-type: none"> いつも寄り添った支援をしてもらえ感謝している・補聴器装用が難しかった時期に粘り強く助言があり、乗り越えられた。 舌の動きを見てくれて、運動、口の体操にも取り組んでもらっている。 子ども、保護者の希望を聞いてもらえている。 子の特性を理解したうえで支援、活動してもらえている。 グループの際、友達とのやりとりを見守る姿勢も大事だと思うが、もう少し言葉かけのアドバイスが欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭連絡票を活用し、療育での気づきや課題について、保護者様と共有しながら専門性を持ち丁寧に対応していきます。
4	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていると思いますか。	96%	1%	1%	<ul style="list-style-type: none"> まだこどもの色々な場面を知ってもらう期間なので、よくわからない。 無理なく子のペースに合わせた支援計画を作成してもらえている。 発達検査の結果と普段のこどもの様子を聞き取りした上で、分析された計画が作成されている。 長年の経験とこどもに必要な支援をバランスよく入れた計画をしている。 個別支援計画は作成しているが、グループの中で個別にどんな配慮がされているか見えにくい。 個々に合わせて対応がされその都度情報共有してもらえている。 自分が項目をよく理解していない。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後ともお子様の個性や強み、関心、発達を十分に理解することに努め、お子様にあった支援が出来るよう個別支援計画を検討していきます。
5	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインに示されるこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	89%	0%	10%	<ul style="list-style-type: none"> ガイドラインを把握できていない。 具体的に支援内容が設定されている。 親だとわが子の発達より背伸びしがちのところを活動の様子から冷静に捉え具体的なあゆみを示してもらえている。 ガイドラインを一新し工夫が伝わる。一方ひばり園の活動だけでは網羅できないこと、家庭や保育で任せられることについても揚げられ実際の支援と乖離していると感じる部分がある。 計画に基づいた支援である。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後もガイドラインに沿った適切で具体的な支援を、保護者様と話し合いながら設定し提供できるように心がけます。

6	個別支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	93%	3%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を明確にして、それに沿った支援をしてもらっている。 ・支援計画に沿っている。 ・体調不良等休みがちなども調節してもらっている。 ・様々な特性があるこどもを一つのグループで支援する上でわが子にはどこを重点的に学ぶのかが見えにくく説明されていない印象。グループ活動ありきではなく、個々の計画等照らし合わせそれぞれに何を学んで欲しいか。ゆっくりなわが子にとってはついていけないことが多いので考えてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画は保護者様からの希望を基に作成し、お子様の成長に合わせた活動を取り入れるよう努力していきます。目的やねらいが分かる説明も踏まえたくて進めますのでご意見をいただけると有難いです。
7	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	95%	0%	4%	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも工夫があり、様々な活動をしてもらっている。 ・季節の遊び、運動遊び等内容に工夫が感じられる。 ・季節ごとの製作あそびなどが取り入れられこどもの成長に応じた活動を行っている。 ・毎回違うことだったり、同じでも前回と比べたりでパターン化はされていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・季節や行事、こどもの成長や興味関心を大切に工夫をこれからも盛り込んでいきます。
8	ひばり園外で地域との交流や活動をする機会がありますか。（公園、近隣への買い物、ペア活動）	63%	11%	26%	<ul style="list-style-type: none"> ・週末に他との関わりを持てるよう出かけている。 ・まだグループのみで個別は（9月）からなので分からない。 ・元々机上課題を中心に希望しているので分からない。 ・児童館を利用している。 ・合同療育では、グループと違う友達と接することが出来るのでコミュニケーション能力が高まると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成長に合わせ興味関心が広がるよう、お子様にあわせて地域資源の活用をしていきます。（近隣への買い物経験活動、公園の利用など）
9	事業を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	99%	1%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・書類を用いて丁寧な説明があった。 ・補聴器作成に来園したところ、当然のように集団療育の予約をさせられた。 ・事前説明が十分あった。不明で困ったことはない。 ・今回のアンケートは簡略化され回答しやすいが、ガイドラインの項目は網羅しているのか。他事業所との支援内容の連携が不十分。モニタリングで、子どもの状況だけにとどまらず、支援内容について一貫した取り組みについて話し合い支援に反映したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時は書類やサイン等手続きや情報が多くありますが、保護者様に出来るだけ混乱のないよう手順を踏まえ進めて参ります。また、保護者様のご希望を丁寧に伺い療育につなげて行きたいと思っております。 ・複数事業所を利用のお子様への支援について、出来ることを検討し努力します。
10	個別支援計画を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	97%	0%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・口頭、書面とも十分な説明があった。 ・支援内容の具体的な説明があった。 ・説明が丁寧だった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前期後期のタイミングで、保護者様からの希望を基にした支援計画を作成し、ご理解頂いた上で進めて参ります。
11	事業所では、家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	95%	0%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・行われている。勉強会、懇談会等ありがたい。 ・定期的に研修会や情報提供の場が設けられている。 ・ひばり園卒園保護者の話が良かった。 ・研究会などのお知らせをよくもらうが、もしよければ時間がある時に録画で見たい。（平日は仕事があるため） 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度も保護者学習会を計画しておりますのでご参加ください。年間計画はオリエンテーション時お配りします。また、外部の研修（保護者向けのオンライン等）は廊下の掲示板で紹介しておりますので、どうぞご利用ください。
12	日頃からこどもの状況を伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。また、職員とは、意思疎通や情報伝達がしやすい配慮がなされていますか。	79%	3%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・悩んでいる時に、先生へ相談が出来るのがとてもありがたい。 ・いつも直接やメール等で相談にのってもらいアドバイスがある。 ・メールでもやりとりが出来るので体調不良時は助かる。 ・日頃の活動や保育所訪問の際の些細な子どもの言動を見てもらっており、気づきから様々なアドバイスがもらっている。 ・こどもの長所を見てもらっていないと感じる。常に上から目線でアドバイスする職員がいる。（その職員が褒めてくれたことは半年も前から出来ていたことだったので今更かと思った。） ・振り返り用紙を通じてこどもの細かい様子を共有してもらっている。担当外の職員からも声をかけてもらい有難い。 	<ul style="list-style-type: none"> 不快感をさせてしまい申し訳ありませんでした。保護者様に寄り添い、話し合いながら保護者様と一緒にお子様の支援をしていけるようしていきます。
13	定期的に、子育てまたはきょうだいへの対応等、家庭での悩みに対する助言や共感する支援が行われていますか。	79%	3%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで保護者同士が情報交換できていてよい ・家庭での悩みを伝えると具体的なアドバイス、対策を一緒に考えてくれる ・睡眠リズムの相談に助言がもたらえた 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も様々な相談に対応できるよう、専門性を高めるよう努力します。

14	保護者懇談会、学習会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。	73%	4%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・ひばり園を通し保護者同士が関わる事が出来、同じ悩みを持つ方とつながることが出来た。 ・なかなか参加出来ていない為、詳細が分からないので「わからない」とした。 ・あまり参加できていない。行事への声掛けはしてもらっている。 	保護者様のニーズに合った内容や参加しやすい日程を検討します。
15	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されていますか。また、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明がなされ、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切な対応がなされていますか。	78%	1%	3%	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ、個別共にいつでも職員に相談できる体制になっている。活動内容の提案の受け入れもあり。 ・相談したいことがある旨伝えと、園長先生が対応してくれている。 ・保護者同士が話しやすい雰囲気づくりをしてもらえ良かった。 	
16	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	56%	1%	26%	<ul style="list-style-type: none"> ・最近、全く見てなかった。 ・あまり見ないので不明ではあるが、行事などのおたよりはもらっている。 ・HPをチェックする機会や動機がなく把握していない。 ・自己評価の結果はHPで見た。詳細に回答しているがその後の対応をどのようにしたか、いつ公開したか保護者に周知されたのか。 ・廊下の掲示板で見ている。HPは見えていない。 	ホームページを定期的に更新し、必要な情報を提供できるように今後も努めてまいります。自己評価の結果はホームページと園内に掲示し、対応したことについてその都度アナウンスしております。今年度につきましても徹底していきます。
17	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	77%	0%		<ul style="list-style-type: none"> ・写真を撮る際も注意、配慮してもらっている。 	個人情報へは、細心の注意を払い対応してまいります。
18	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	73%	1%		<ul style="list-style-type: none"> ・説明があったかもしれないが、マニュアルを把握できていない。定期的に訓練は行われている。 ・消防訓練があり、徹底している。 	各マニュアルを策定し、危機管理を行っています。各訓練を今後も毎月1回計画し行いますので、ご協力宜しくお願いします。
19	万が一、事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	70%	1%	12%	<ul style="list-style-type: none"> ・事故等があったか把握していない。・今のところ、保護者同伴の活動の為、改まった説明は記憶にない。 	事故やヒヤリハットが起きた場合、対象のお子様と保護者様へはご連絡、対応をさせていただいております。今後も事故防止に務め、残念ながら起こってしまった場合は速やかな対応を心がけて行きます。
20	こどもは安心感をもって楽しみに通所していますか。	81%	1%	1%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回楽しく通っている。（5） ・嫌がることなく喜んで行ってくれるのでありがたい。 ・どの活動も楽しく参加出来ている。 ・気分のムラはあるが、楽しみに行ってくれている。 ・ひばり園に通い半年とちょっとでとても成長している。 	今後も信頼関係を深められるようにしっかりコミュニケーションをとっていきます。また、お子様の発達や興味関心に合わせ、楽しい活動となるよう工夫していきます。
21	事業所の支援に満足していますか。	79%	3%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・通えてよかった。・この1年でものすごく成長を感じている。とても満足。 ・大満足。ひばり園に通うことができ嬉しく思う。 ・耳のハンディと向き合い寄り添ってもらっている実感がある。・丁寧に対応してもらえ、感謝している。 ・年長児などは活動時間を増やせないか。 ・ひとりひとりをよく見てもらっている。ひばり園の職員に出会え娘に感謝。満足している。 	今後も満足していただけるように職員一同研鑽していきます。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通所支援事業所 熊本県ひばり園		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 81名	(回答者数)	73名
○従業者評価実施期間	令和7年 9月 1日		～ 令和7年 9月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 18名	(回答者数)	18名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 26日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者本人の希望を取り入れた支援計画の作成ができています。	令和6年度からひばり園の児童発達支援プログラムを活用したアセスメント、支援計画の作成を行っている。	今年度の活用状況を踏まえ、成果と課題を整理しながら、児童発達支援プログラムを継続的に見直し、改善していく。
2	親子通園のため、保護者との連携が取れやすい。	療育場面の見学ができ、その場での出来事を例に挙げて振り返り意見交換、助言ができる。	保護者のニーズに合わせた利用回数を検討する。(希望があれば回数を増やす)
3	保護者同士の交流が回りやすい。	保護者同士が気軽に懇談できる場を設けている。 卒園児保護者の体験談など縦の交流も行い、将来に向けた情報提供も行っている。	参加が難しい保護者への情報提供の方法を検討する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団療育の中で保護者への個別の課題に対して振り返る時間設定の難しさがある。	小集団でのねらい、目標、振り返りを伝えていく方法の検討が必要。	集団での振り返りだけでなく、必要に応じて個別にこどもの様子や課題を振り返っているグループもある。各グループで行っていることを共有し、実施の方法を検討する。
2	施設設備の古さ	利用者のニーズに合った環境作りが必要。 今年度は照明の増設。	アンケートをもとに随時取り組んでいく。 次年度は男子トイレにもオムツ交換台を設置予定。
3			

公表

事業所における自己評価結果

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通所支援
事業所 熊本県ひばり園

公表日 令和8年 3月 10日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	83%	17%	・個に合わせてスケジュール等活用している ・教材が不要の子もいる	
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%	・訪問枠が確保されているが足りない。 ・前期・後期等で見直し、分担を変えてもよいと思う	・配置数としては満たしているが訪問担当者の時間枠の見直しや訪問事業への共通理解が必要と思われる。
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	83%	17%		
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	・年に1回アンケートを実施している ・全ての業務改善にはつなげていない	・業務改善に繋がっていない原因を探りどうすればよいかを自分事としてアイデアを出し合う。
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	67%	33%	・意見を把握する機会は設けられたが、業務改善にはつながらない(今のところ) 難聴と言語でスタイルがちがうので別のやり方があっても良いのではと考える。	・職員間で意見を出しやすい会議の持ち方、(訪問支援事業についての会議や研修の機会を持つ) ・アイデアを共有し実践していく。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	33%	・全ての業務改善にはつなげていない。	・業務改善の内容、評価結果の項目を一つずつ咀嚼し対応方法を探る努力をする。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	33%	67%	・保育所訪問に関する研修は法人内では実施したことはない。 ・個々に任されているように感じる。	・年度初め訪問担当が集まったが、事業の共通理解にとどまった。 ・外部研修の機会はあったが、受講者は少なかった。受講できなかった原因を探り対策を取る。
適切な支援の提供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	100%	0%		
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%		
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	50%	50%	・訪問施設の意向を盛り込むことはなかった。 ・計画作成後に説明は行うが、その後意見を盛り込み再作成することはあったが少なかった。	・今後は訪問時に課題を確認し、共有した支援が行えるように支援計画を作成していく。
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	67%	33%	・昨年、課題にあがっていたが保育所等訪問支援事業分は以前と変化がないように思う	・児発での両アセスメントは行われているが、現在の保育所等訪問支援事業のインフォーマルアセスメントの様式を検討していく。
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	14 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%		
	15 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・振り返りは行っている。それぞれ(多職種)話し合っで総合的に記録している。	・報告書にはそれぞれ振り返りをしたことを記載しているため、多職種の見方や考え方が盛り込まれた記録になっている。様式を検討する。
16 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	100%	0%			
17 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	100%	0%			
18 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	83%	17%		
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%		
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	17%	83%	・保育所等訪問支援事業に特化した外部研修への参加は少ない。	・外部研修の参加の案内を出している。出席可能な職員が参加している。
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	100%	0%		
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%		
保護者等への説明等	25	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%		
	26	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%		
	27	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	100%	0%		
	28	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%		
	29	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	100%	0%		
	30	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%		
	31	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	・きょうだい同士は行えていない	
	32	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	17%		
	33	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	67%	17%		
	34	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	83%	0%		
訪問先施設への説明等	35	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	83%	0%		
	36	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	83%	0%		
	37	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	67%	17%	・毎回支援後の報告に時間をかけて行っている。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	83%	0%		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	83%	0%		
非常時等の対応	40	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	83%	0%		
	41	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	67%	0%		
	42	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	67%	0%		
	43	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	67%	0%		保育所等訪問支援事業契約児は児発を利用しているので、児発で説明している。
	44	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	67%	0%		
45	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	67%	0%			

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害

児通所支援事業所 熊本県ひばり園

公表日 令和8年 3月 10日

利用児童数 令和7年 5月 31日 回収数28名

* 100%に達しない設問は未回答あり

	こどもく チェック項目	はい	いいえ	わからな い	ご意見	
1	事業の目的が適切に説明され、頻度や回数等相談の上行われていると思いますか。	96%	0%	4%	・困った時にすぐ対応していただき感謝している。(悩んでいる時) ・頻度、回数もタイミングもちょうど良く行ってもらえていると思う。	・今後もこどもさんの困り感や保護者様のニーズに合わせて訪問させていただきます。悩んでいる時には担当職員へお声掛けください。
2	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	96%	0%	4%	・訪問での様子を具体的に聞け本人の特性を考えアドバイスをしてもらえている。	・今後も個別、集団の両担当でこどもさんに必要な支援を通園されている園の先生方とともに協力して行っていきたくと思います。
3	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われている と思いますか。	93%	0%	7%	・親が見てきてほしいことを見て成長につながるように支援してもらっている。 ・定期的に支援に行き計画に沿っている。	・こどもさんの課題や困りごと等保護者様と確認し、今後も必要な支援を行えるように作成してまいります。
4	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配 慮した支援が行われていると思いますか。	96%	0%	4%	・園側のことも配慮したアドバイスを してもらった。	
5	事業を利用する際に、運営規程、利用者負担等につ いて丁寧な説明がありましたか。	93%	0%	7%	・十分な説明があった。	
6	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内 容の説明がなされましたか。	96%	0%	4%	・具体的に説明があった。	
7	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、 必要な助言と支援が行われていると思 いますか。	96%	0%	4%	・定期的にやり取りされている。 ・出来ている。園の先生がひばり園の先生方と話しアドバイスあったことを取り入れてみようと言われた。	
8	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と 訪問支援の内容について話し合いが行われ、保護 者にも適切に共有がなされていると思 いますか。	100%	0%	0%	・丁寧に説明してもらえありがたい。 ・密に情報共有が出来ている。	今後も報告書を基に園での様子や先生方と話し合ったこと等共有をさせて頂きたいと思いま す。
9	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	100%	0%	0%	・子どもは嬉しそう。 ・〇〇先生に合えるかも!?と楽しみにしている。 ・慕っている先生がきてもらえ本人も嬉しいと思う。	事前の予告などいつもご協力いた だきありがとうございます。 今後ともご協力をお願いいたし ます。
10	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	・とても満足。ありがとうございます!! ・幼稚園とも連携し対策などしてくれるのでとても満足。 ・大変満足。ひばり園に通うことができ親子共々気持ちの面でも安定している。	これからも皆様に満足していた だけのように職員一同精進して まいります。

保育所等訪問支援事業に関する評価

社会福祉法人熊本県社会福祉事業団
多機能型指定障害児通所支援事業所 熊本県ひばり園

公表日 令和8年3月 10日
利用児童数 令和7年5月31日
回収数 43/45

	チェック項目	はい	いいえ
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	89%	2%
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	89%	2%
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	91%	0%
4	保育所等訪問支援を利用したことで、利用児に関する課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	82%	9%
5	事業所からの支援に満足していますか。	84%	7%

その他のご意見

- ①実際にひばり園で使用している絵カード等を写真でもいいので見せていただけるとありがたい。
- ②日程の相談等の電話は午後からお願いしたい。
- ③訪問された際にひばり園での活動内容を教えて頂いたが、毎回同じような内容か？保護者の方と話す時間も少ないため毎回どんなことをしているか教えて頂けると園での保育に取り入れられると思う。
- ④訪問支援が年に1,2回ということもあり、課題・困りごと等、園内で解決していることも多くある。そのあたりの難しさを感じている。
- ⑤本児を中心とした活動を助言されることがあったが、年齢的にも個人差があるため難しい場面がある。
- ⑥訪問支援の際、直接支援に入るのか見学するかを確認できたらよかった。
- ⑦支援の方法を教えてください（急に絵カードを持ってこられると…。他児も触りたくなくなってしまうため）。使い方や伝え方を本児ときちんと理解した上で取り入れたいと思った。

ご意見を踏まえた対応

- たくさんのご意見ありがとうございます。今回、対応が必要なご意見をまとめさせていただきました。匿名でのアンケートになりますので、次回訪問時に担当から確認させていただくことがあるかと思いますがご協力をお願いいたします。
- ①訪問の日程を決める際にお電話で確認させていただき、絵カード等持参させていただきます。
- ②日程の連絡は園の先生方のご都合の良い時間帯でさせていただくよう、努めます。
- ③ひばり園の活動については担当の方からお伝えさせていただきます。いつもご協力いただきありがとうございます。保護者様了解のもと、個人の記録等もお渡しできます。
- ④訪問支援の回数に関しましては、保護者様のご希望や園の先生方の困り感など教えていただくことで回数を増やすことも可能になります。困りごと等ありましたら、担当の方へご連絡していただくか、保護者様に訪問の依頼をお伝えしていただければと思います。
- ⑤的確な助言に至っておらず申し訳ございません。クラスの様子を見て園の先生方とできる支援について話していくことができればと思っております。
- ⑥訪問支援の方法や内容については、目的に合わせた支援となるよう、園の先生方と打ち合わせを行いながら進めます。
- ⑦絵カードについて事前の確認が足りず申し訳ございません。具体的な支援については、今後も一緒に検討させていただければと考えております。

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人熊本県社会福祉事業団 多機能型指定障害児通所支援事業所 熊本県ひばり園		
○保護者評価実施期間	令和7年 9月 1日		令和7年 9月 30日
○訪問先施設評価実施期間	令和7年 9月 1日		令和7年 9月 30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 45園	(回答数)	43園
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 1月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多職種(言語聴覚士、心理士、保育士)の視点を持った支援ができる。	(生活、遊び、集団等)個の課題や支援計画に基づいた訪問の計画をしている。	各職種の専門性を生かした訪問事業となるよう研修を受け、より利用者にとって支援の充実が図れるようにしていく。
2	訪問前には、保護者の希望を確認し思いに沿った回数や内容での訪問支援ができている。	保護者には、直接目標に対する姿やその支援について丁寧に報告することで、保護者と共通理解をもち園と共に継続した支援ができる。	保護者や園と情報のすり合わせを行い、対応をともに模索する。(協働支援) 園の現状に合わせた提案ができるようにしていく。
3	事前に園の現状を知り、先生方と連携が取れている。	園からの見学や、懇談の機会を随時設けている。 ひばり園、幼保で一貫した支援と課題へ取り組んでいる。(教材の紹介や提供)	上記と同じ

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業を実施する環境に課題がある	児発の配置基準や 児発支援(療育)との兼ね合い	職員体制の工夫 記録・報告書の形式を検討
2	幼保との連携の難しさ	幼保側の状況(他施設からも訪問があり対応が大変など)	年度初めに幼保側と話し合いの場を持ち、訪問支援の共通理解をする (年間の予定や目標、幼保のニーズを把握する等)
3	専門性のさらなる向上	訪問に関する園内外の研修受講が不十分。 訪問担当同士で情報交換する場、スキルアップできる機会がもっと必要だった。	職員で共通理解ができるよう、訪問担当中心に園内外の研修受講や話し合いを実施する。